

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透1未訓ガ	救臨が感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,959	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

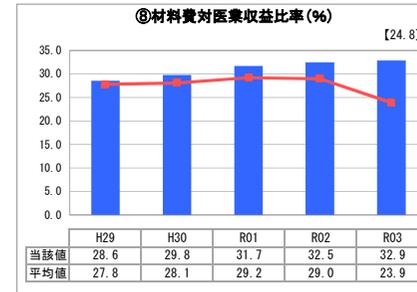
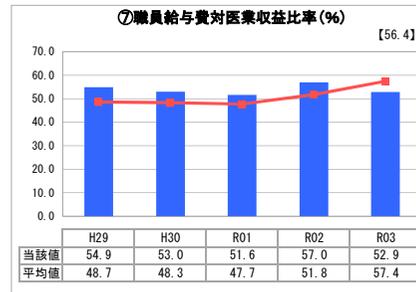
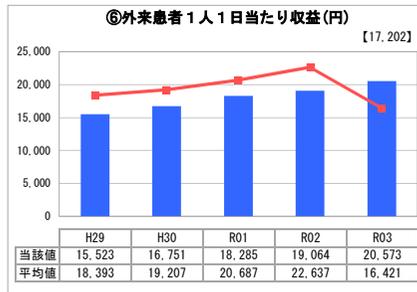
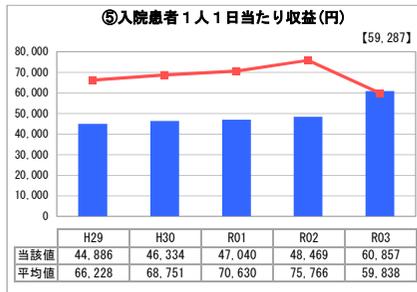
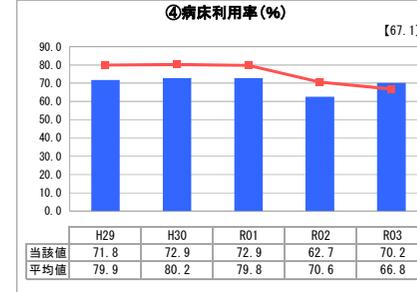
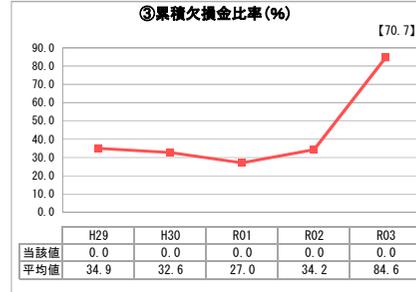
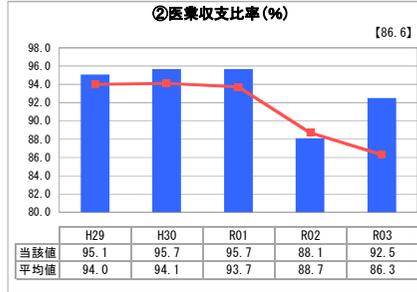
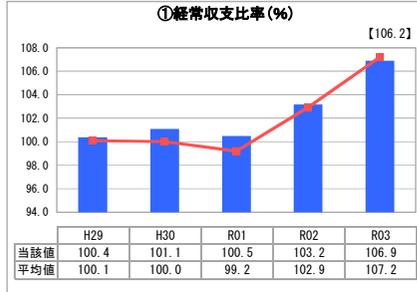
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
352	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	356
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
341	-	341

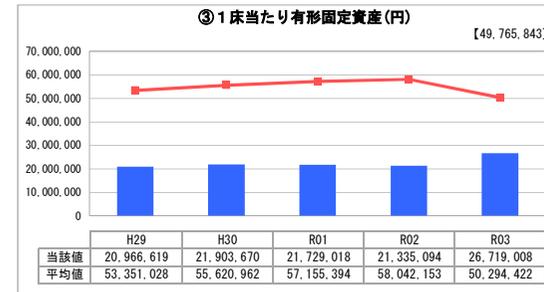
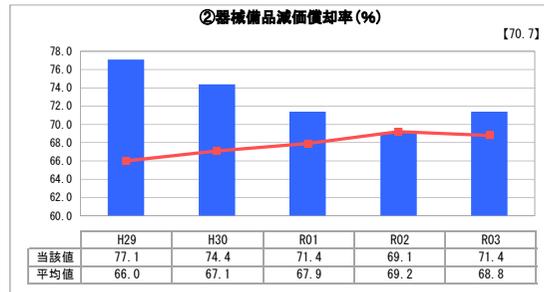
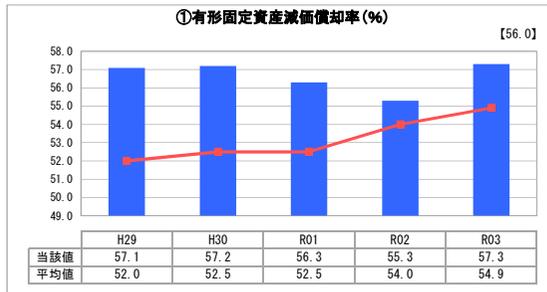
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門にかかわる医療の提供

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

今年度は新型コロナウイルス感染症患者受け入れのための空床確保などにより入院収益が減少となりましたが、外来患者数の増加による外来収益の増加及び空床確保に対する補助金収入の増加により、前年度に引き続き経常収支比率は100%以上を維持しております。また累積欠損金及び不良債務も発生していないことから、経営の健全性は保たれていると考えられます。

一方、修正医業収支比率においては91.9%と100%を下回っており、上記役割の影響が大きいためと考えられますが、繰出を受けることにより経常黒字を達成しております。今後もコロナによる病院経営への影響を踏まえながら、収益に対する費用の適正化を図るとともに、経費節減にも引き続き取り組み、経営の安定化に努めて参ります。

### 2. 老朽化の状況について

病院新築移転から16年が経過し、その際に整備を行った医療機器、備品等が老朽化による更新時期を迎えております。これら老朽化機器等につきましては計画的に整備を進めており、紀南病院で令和元年度に約6億円、令和2年度に6億円、令和3年度に5億円の投資を行い、翌年度についても6億円規模の設備投資を予定しております。なお、老朽化が進み耐震性等に問題のありました紀南看護専門学校につきましては、平成29年9月に新築移転が完了し供用を開始しております。

### 全体総括

当組合では平成23年度から11期連続での経常黒字を達成しております。しかしながら、医療機器、備品及び建物附属設備等の老朽化に対しましては、今後も計画的に更新整備を進めていく必要があることから、それによる損益収支への影響や資金収支の状況を注視しつつ事業計画を進め、健全経営に努めて参ります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南こころの医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	精神科病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	12,421	非該当	非該当	15：1

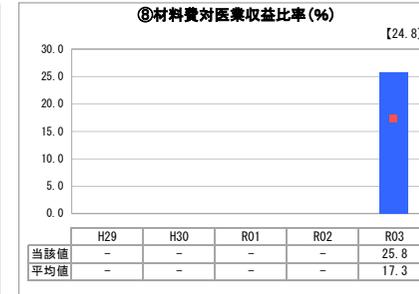
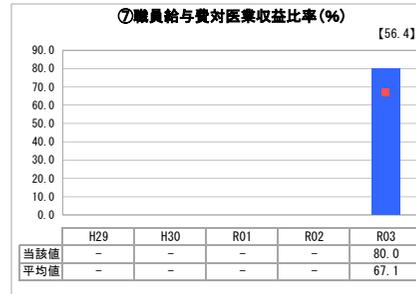
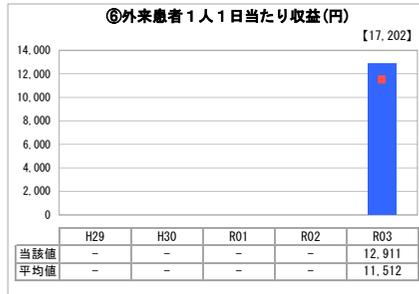
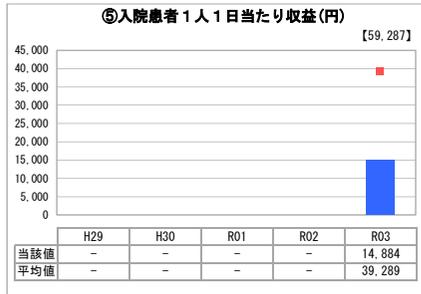
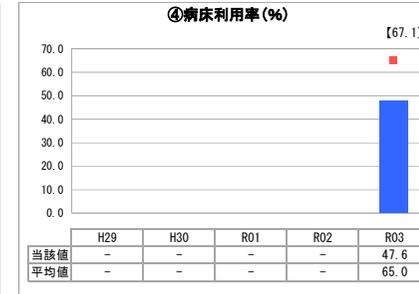
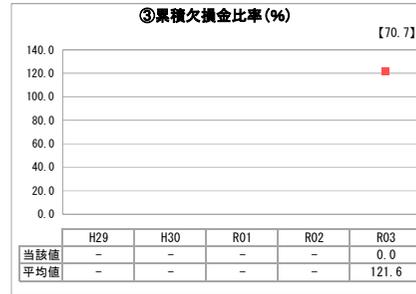
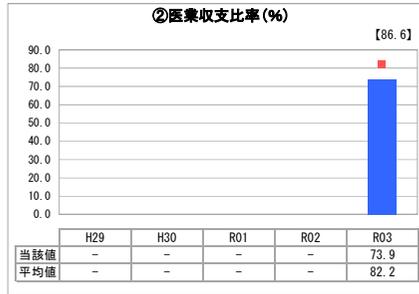
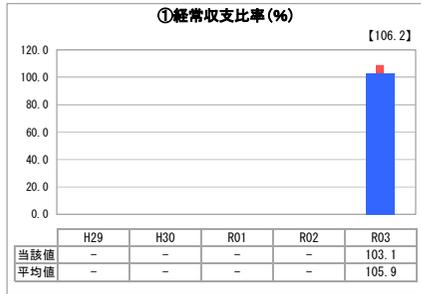
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

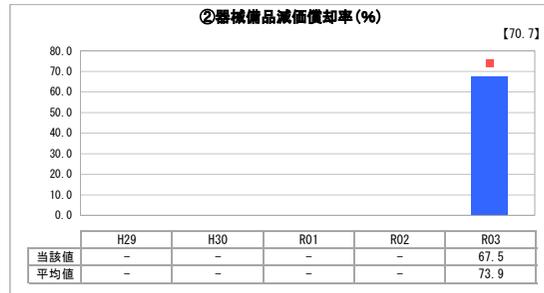
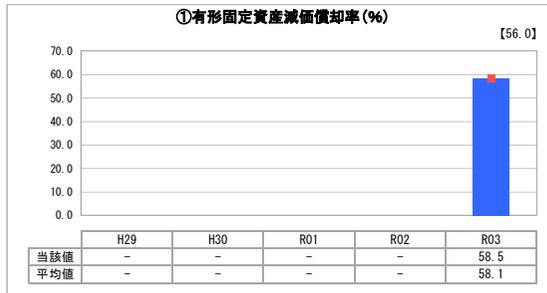
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
198	-	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

当地域唯一の公立の精神科医療施設として、入院はもとより、外来診療・地域精神保健・福祉相談や救急患者・青年期患者・措置患者に対応している。また、地域の障害者入所施設や通所施設への精神科医療上の支援も行っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

全国的傾向と同様に入院患者数が減少してきており、病床利用率が低くなっている。今後入院患者が増加に転じる可能性は少なく病床再編を含めた費用削減に取り組む必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

現病院は昭和59年より使用しており建物、設備で老朽化が顕著な状況である。経年劣化による機器の更新は順次実施しているが、建物・設備の修繕費用は今後さらに増加すると思われることから早期の建て替えもしくは移転が必要と思われる。

### 全体総括

平成22年度から経常黒字を続けており、現時点では経営状況は安定している。今後は入院患者の身体的疾患への対応など効率の面から紀南病院内の1診療科としての編入なども今後検討が必要と思われる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。